

天然ガスパイプラインの建設計画について

平成 14 年 12 月 13 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：磯野 啓）は、平成 14 年 2 月に完成した天然ガスパイプライン「入間ライン」を、さらに上流の幹線パイプラインである「東京ライン」まで延伸する建設計画を決定いたしました。

入間ラインは、入間ガス株式会社および青梅ガス株式会社への卸供給を目的として建設した埼玉県日高市から東京都青梅市間を結ぶ延長 17.5km のパイプラインで、入間ガス株式会社には本年 3 月より、また青梅ガス株式会社には本年 6 月よりそれぞれ供給を開始しております。なお、東京ラインから入間ラインまでは、武州ガス株式会社の協力の下、同社の中圧導管を経由して供給を実施しております。

しかし、今後同地域はさらに天然ガス需要の大きな伸びが予想されることを踏まえ、検討の結果、早期に東京ラインに連結し、入間ラインを高圧ラインとして運用することで供給能力の増強を行い、将来に亘る安定供給態勢を整えるとともに、より多くの需要家への天然ガス利用促進を図ることが必要であるとの結論に至ったものです。

当社は、国内最大規模の天然ガス田である「南長岡ガス田」の豊富な埋蔵量を背景として、近年、高圧パイプラインの整備を進めておりますが、今回の建設計画もその一環であり、こうした供給基盤の増強により、地球環境に優しい天然ガスの一層の利用促進を目指していきます。

今回の建設計画の概要は、下記の通りです。

記

◆ 建設計画概要

1. 延長 : 約 25km
2. 管径 : 12 インチ (300 mm)
3. 設計圧力 : 約 4.9Mpa
4. 建設期間 : 平成 15 年 (春) ~ 平成 17 年央
5. 建設区間 : 埼玉県吹上町 (東京ライン) ~ 埼玉県日高市 (既設入間ライン)
6. 建設費 : 約 50 億円

以上

